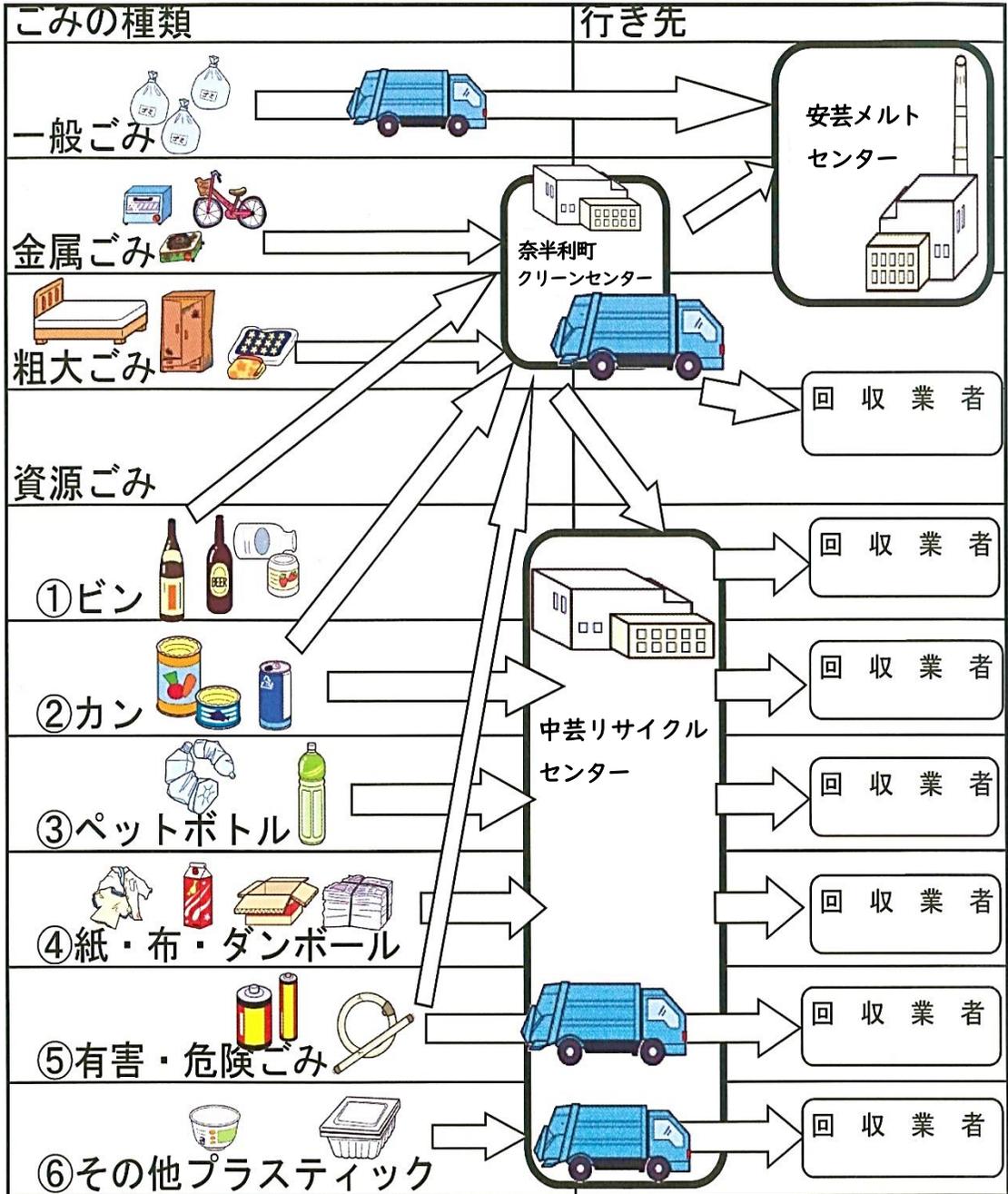


また、りこちゃんは、パッカー車で集めたごみが、どこに運ばれて行くのかも気になり、調べてみました。すると、ごみは種類によって、運ぶ場所と処理の仕方がちがうことがわかりました。



奈半利町クリーンセンター

よねがおか のほ
米ヶ岡の上り口の近くに、
奈半利町クリーンセンターが
あります。センターに集めら
れたビン、カン、有害・危険ご
みなどは、ここで燃えるごみ



しげん
と資源ごみなどに分別されて、安芸広域メルトセンターや、中芸
広域連合リサイクルセンターに運ばれます。

センターではたらいっている人たちが、奈半利町で集めたごみを
種類別にいていねいに分けて、分別したごみを処理できるしせつに、
運んでいくことがわかりました。

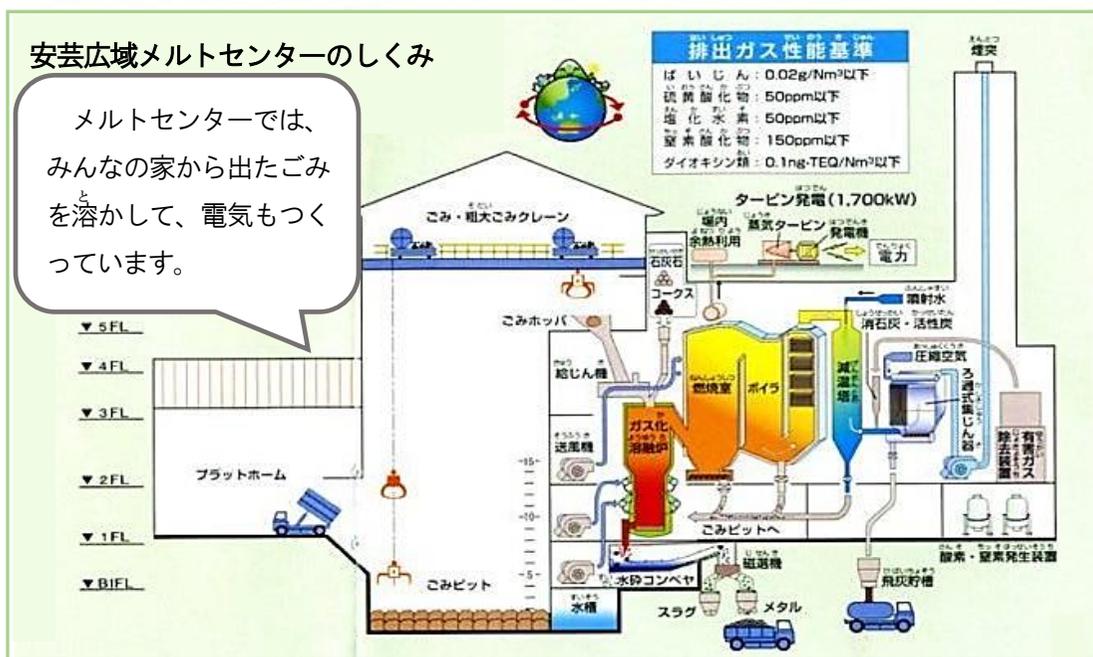
ごみを分別する作業



あきこういき 安芸広域メルトセンター

パッカー車で、ごみステーションを順番にまわって集めた一般ごみは、安芸市にある安芸広域メルトセンターに運ばれます。

また、奈半利町クリーンセンターで分別された資源ごみの中で、燃えるごみもここに運ばれてきます。



こういきれんごう 中芸広域連合リサイクルセンター

分別した資源ごみは、中芸広域連合リサイクルセンターに運ばれてきます。この施設はごみを資源にもどし、再利用するために、2001年（平成13年）に北川村にできました。

奈半利町だけでなく、中芸地域町村のすべての資源ごみが集められて、リサイクル業者にわたして処理してもらいます。

(2) くらしをささえる水

つか 使う水はどこから



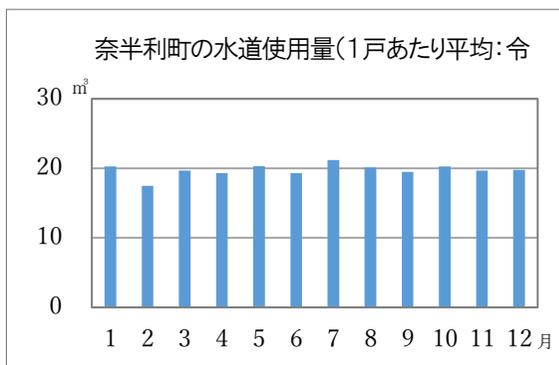
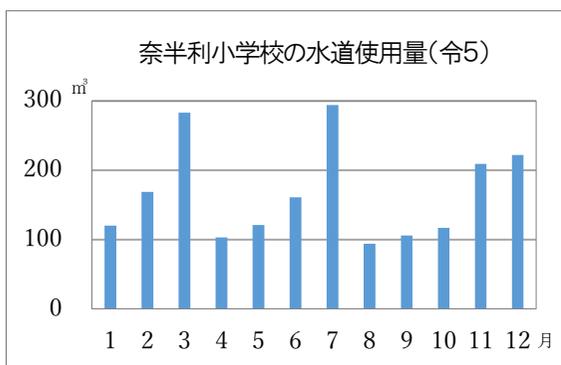
わたしたちの生活の中では、たくさんの水が使われています。
学校や家では、どれくらいの水が使われているのか、気になった
なはくんは、役場の人から、学校や家庭の1年間の水の使用量や
水道のしくみについて、教えてもらうことにしました。

「学校は、3月や7月にたくさんの水が使われているね。」

「家で使っている水の量は、毎月だいたい同じくらいだよ。」

「各グラフのたて軸の数字がちがうよ。どうしてかな？」

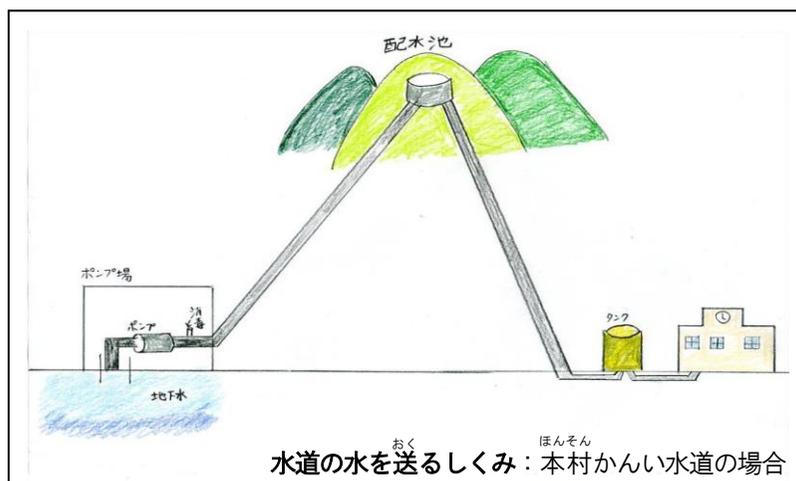
「ふだん使っている水は、どこから送られてくるのだろう。」



ほんそん
本村かんい水道

奈半利町には、地下にたくさんの水があります。しかも、少し消毒するだけで、飲み水に使えるきれいな水があることを、役場の人から聞きました。

地下からくみ上げた水を消毒すると、配水池に送られ、配水池からパイプを通して家庭や学校に運ばれます。町の中心部では、このしくみを使って、わたしたちのもとに水が送られています。



ぼくたちが使っている水道の水は、このようにして運ばれてくるんだね。



ポンプ場

配水池



地下水をくみ上げ、ポンプで配水池に送っています。



水をためておいて、家や学校などに給水しています。

加領郷かんい水道

ほんそん
本村かんい水道から遠いところにある加領郷地区には、パイプ
つか
を使って水を送ることが困難です。
おく
こんなん

そこで、加領郷地区では、近くの谷川の水をちんでん池に引き
ち
入れて、ろか池できれいな水にして、消毒してから家庭や各施設
しょうどく
かてい かくし せつ
に水を送っています。
おく

ちんでん池



水中にあるごみなどをしずめて、と
のぞ
り除いていきます。

ろか池



水中に残っている砂などをこして、水をきれいにします。
すな

はいすいち
配水池



水をためておいて、家や各施設などに給水しています。
かくし せつ
きゅうすい

げんあつ
減圧そう



水道施設から送られる水の水压を下げ、給水します。
し せつ
おく
すいあつ
きゅうすい

いんりょうすいきょうきゅう し せつ 飲料水供給施設

う がわ よね が おか はなだ ひら す がわ く れい わ
宇川、米ヶ岡、花田、平、須川、久礼岩の地区のように、町の
中心部から遠いところや、高いところにある地区では、別の施設
が必要です。そこで、近くの谷川の水を引き入れて、ろか装置で
きれいな水にして、各家庭に送っています。

ろか装置



ポンプで水をくみ上げられないような、高い場所にある地区では、谷川から水を引き入れて、飲めるようにきれいにして、家などに送っています。



ポンプ装置



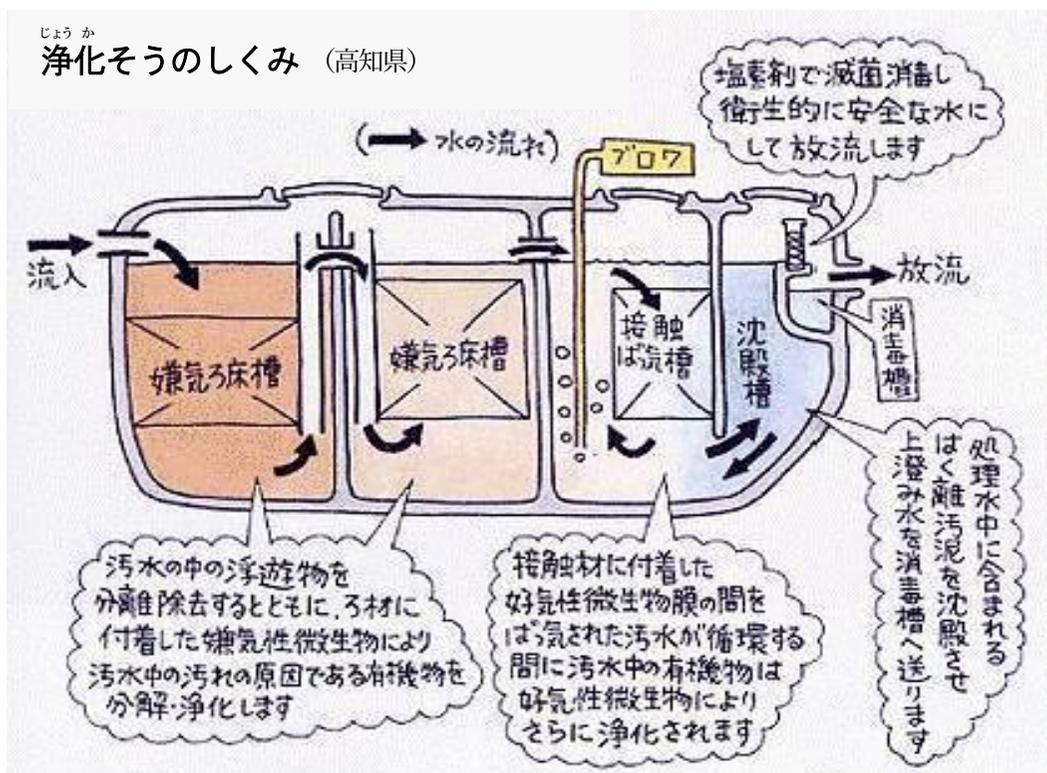
給水施設よりさらに高い所にある家などには、このポンプ装置を使って、水を送っています。役場の人が、時々点検をしています。

使った水のゆくえ

りこちゃんたちは、家庭や学校で使われた水が、どこに行くか調べてみることにしました。

毎日の生活で出た汚れた水をそのまま流すと、川や海を汚してしまいます。しかし、奈半利町のほとんどの地区は、下水処理施設（汚れた水をきれいにする施設）がありません。

そこで、町では補助金を出して、家庭や学校に浄化そうをつけてもらい、水をきれいにして水路に流しているところもあります。



1. 汚れた水の中の固形物と液体が分けられ、微生物が固形物を分解します。
2. 酸素をきらう微生物がまず分解を行い、その後、酸素を好む微生物がさらに分解します。
3. 処理水の中の泥を沈めて、上ずみのきれいな水を消毒し、川や海に流します。

加領郷浄化センター

加領郷浄化センター

町内では、下水処理施設をつくらることができない地区が多いのですが、加領郷地区には浄化センターがあります。家庭や各施設などで使って汚れた水を、パイプを通して1



か所に集め、きれいな水にしてから海に流しています。

また、浄化センターで下水処理された後に出てきた、汚れた泥はくみ取って、田野町にある中芸広域連合衛生センターに運ばれていって、処理されます。

しんくうしきげすいどう

真空式下水道システムのしくみ

(イラスト提供：一般社団法人日本産業機械工業会)



- 真空弁ユニットでは、家庭から出た汚れた水を一時ためておく場所です。ある程度の水がたまると真空弁が開き、汚れた水が真空管へとすいこまれます。
- 真空下水管は、管の中が真空状態に保たれた下水管です。真空弁ユニットからすいこまれた汚れた水を真空ステーションまで運びます。
- 真空ステーションでは、真空下水管を真空状態に保つための真空圧を発生させる場所です。ここに汚れた水をためて処理します。